

【第3版】

安全・安心 しずおか

LC、県と包括連携協定

青少年育成、災害支援などで

県内82のライオンズクラブ(LC)で構成する「ライオンズクラブ国際協会334-C地区」(岡野良隆地区ガバナー、事務局・静岡市駿河区)と県はこのほど、青少年の健全育成や災害支援などで協力する「包括的連携協定」を締結した。都道府県レベルで、LCが同趣旨の協定を結ぶのは長野県に次いで2例目で、岡野地区ガバナーは「活動を広げる大きなきっかけになる」と意気込んでいる。

地域社会への奉仕を掲げ、1917年に米国で誕生したライオンズクラブは、現在、世界の207カ国・地域に約4万6700クラブ、約136万人の会員を擁している。県内には82のクラブがあり、会員は約3100人。

1月29日に、岡野地区ガバナーら役員が県庁を訪れ、川勝平太知事と協定書に調印した。協定に基づく連携事項は、青少年の健全育成▽環境の保全・整備▽災害時の連携▽県民の社会貢献活動の推進―など。LC側、県のいずれかから事業の提案があった場合には連絡を取り合い、具



体的な実施に向けて調整していることも確認された。

調印式で川勝知事は

協定書を交わす川勝知事(左端)と、岡野地区ガバナー(左から2人目)らライオンズクラブ国際協会334-C地区役員ら県庁で、LC提供

「多くの分野で連携し、県民の社会貢献活動や地域社会の活性化が促進されることを期待したい」などと話した。

LC側では、今回の締結を記念し、手始めとして4月に開くチャリティーゴルフ大会の収益金を、県の事業「キッズ・アートプロジェクト事業」のために寄付する。同事業は、県内の美術館、博物館が

連携。小学生に無料で利用できる「ミュージアムパスポート」を配布し、本物の美術や芸術に出会う機会を増やしてもらうことを目的としている。

今回の締結について岡野地区ガバナーは「これまで県と関わってきたが、包括的協定で県と新しい関係が構築でき、県の要望にも応えやすくなる。また、われわれの活動が広く知られることにもなり、会員も増えると思う」と話している。

【宮澤 薫】

LCと県、包括連携協定

334-C地区青少年育成や環境保全

県内82のライオンズクラブでつくる「ライオンズクラブ国際協会334-C地区」(岡野良隆地区ガバナー)は29日、青少年の健全育成や環境保全、県民の社会貢献活動を推進するため、県と包括連携協定を結んだ。

岡野地区ガバナーら役員が県庁を訪ね、川勝平太知事と協定書に調印した。ライオンズクラブと都道府県の協

定締結は長野県に続き全国2例目。県の関係部局と連携し、協定に基づいた具体的な事業に取り組んでいく。

第1弾として4月に開くチャリティゴールフ大会の収益金を県の「ふじのくにNPO活動基金」へ寄付し、本格的な芸術に触れる機会を子どもたちに提供する「キッズアートプロジェクト」しずおか「事業に充ててもら

岡野地区ガバナーは「県との新しい協力関係の中で、本心に牽注を必要としている人の

ために役立っていきたい」とあいさつ。

知事は「地域のために一緒に仕事をしたい。協定が具体化していくようにする」と応じた。



川勝知事(左)と協定書を交わす岡野地区ガバナー(同2人目)ら=県庁

県とLC国際協会が包括連携協定を締結

県は二十九日、県内と、富士宮LCの西川を拠点に社会奉仕活動に取り組む、ライオンズクラブ国際協会334-C地区(事務局・静岡市駿河区)と包括連携協定を結んだ。都道府県がライオンズクラブ(LC)と同協定を結ぶのは、長野に次いで二県目。

同協会は、県内八十二あるLCを統括している上部組織。協会代表で森町LC所属の岡野良隆・地区ガバナー

「協定が形になって、生き生きとした地域になるようにしたい」と期待。岡野さんは「県と

密に連携しながら、必要な人に届く奉仕に力を入れたい」と話した。

(加藤隆士)



協定書を交わす川勝知事(左から2人目)ら=県庁で